

中海湖岸堤等整備実施箇所^の進捗状況

斐伊川水系河川整備計画(うち中海湖岸堤)の確認
および個別整備実施箇所^の進捗状況

◆斐伊川・神戸川における治水対策(3点セット)

○昭和47年7月洪水を契機として、斐伊川・神戸川治水事業の3点セット（上流のダム建設、中流の放水路建設、下流の大橋川改修及び湖岸堤の整備）により、上・中・下流でお互いに治水機能を分担し、流域全体で治水安全度を高める対策を実施。



◆斐伊川水系河川整備計画における整備順序の概略工程表

整備箇所	優先順位	主な整備内容	河川整備計画対象期間		
			短期	中期	
ダム・放水路	(1)-①	尾原ダム・志津見ダムの建設 斐伊川放水路及び神戸川の河川整備	完成		
斐伊川本川	(3)	堤防の整備 支川合流点処理	→		
	(4)	堤防強化対策	→		
宍道湖	(3)	湖岸堤防の整備	→		
大橋川	(2)	狭窄部の拡幅（堤防の整備含む）	→ 設計協議・用地買収・補償工事等		
		堤防の整備（計画高水位まで） 水門等の整備	→		
		堤防の整備（計画堤防高まで）	→		
中海・境水道	(1)-②	湖岸堤防の整備	短期整備箇所 (I) →	短中期整備箇所 (II①) →	中期整備箇所 (II②) →

※ 堤防の上面が道路として利用される場合には、段階的な堤防整備は実施せず、計画堤防高まで堤防の整備を実施する場合あり

※ 放水路への分流の取扱いについては出雲市等と調整

※斐伊川水系河川整備計画より抜粋

○整備実施後における効果

●斐伊川本川、宍道湖、大橋川

整備計画で定めた河川・湖岸堤整備の実施後には、戦後最大の被害をもたらしたS47年7月洪水が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の発生を防止

●中海

整備計画で定めた中海湖岸堤整備の実施後には、既往最高水位（H15.9）※に対し、浸水被害の発生を防止

※ 既往最高水位は斐伊川水系河川整備計画策定時点のもの

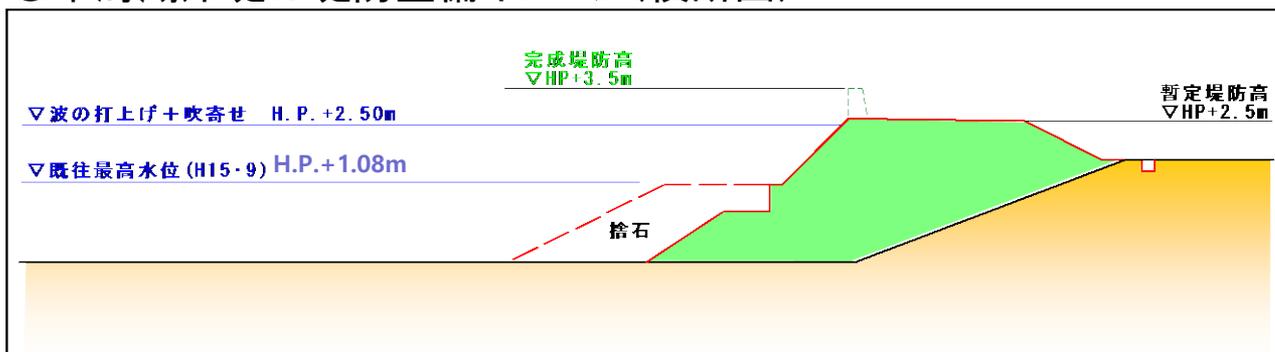
◆河川整備計画の確認について(中海湖岸堤)

○中海湖岸堤整備の優先度の基本的な考え方

優先度		基本的な考え方	延長
短期	I	湖岸堤高がH.P.+1.44m未満(かつ背後地盤高H.P.+1.44m未満)であり、過去に越水による浸水実績がある若しくは背後資産の価値が極めて高い(H.P.+1.44m以下の地盤に100人以上居住)箇所 ※境水道においては、堤防高が計画高水位又は既往最高水位(波浪を考慮)未満(かつ背後地盤高が計画高水位未満)であり、過去に越水による浸水実績がある若しくは背後資産の価値が極めて高い(計画高水位以下の地盤に100人以上居住)箇所	4.0km (0.0km)
短中期	II①	湖岸堤高がH.P.+2.50m未満(かつ背後地盤高が計画高水位+1.30m未満)であり、背後に家屋等がある箇所 ※境水道においては、堤防高が計画高水位又は既往最高水位(波浪を考慮)未満(かつ背後地盤高が計画高水位未満)であり、背後に家屋等がある箇所	10.4km (0.3km)
中期	II②	湖岸堤高及び背後地盤高がH.P.+2.50m未満の箇所 ※境水道においては、堤防高及び背後地盤高が計画高水位又は既往最高水位(波浪を考慮)未満の箇所	15.4km (0.0km)
全体			29.8km (0.3km)

○中海湖岸堤の堤防整備イメージ(横断図)

※()は境水道の整備延長



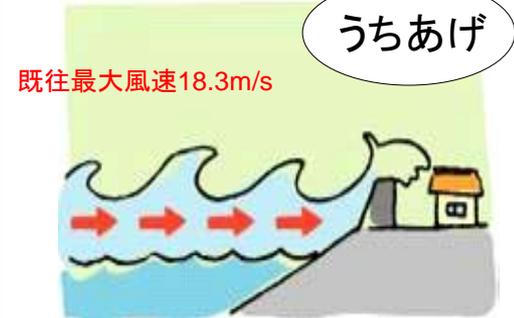
- ※ 詳細な施工延長及び堤防形状については、背後地の土地利用状況、湖岸の植生等の生物環境、景観、被害の状況、地域住民等の意見も踏まえ精査
- ※ 漁港施設・港湾施設については、施設管理者と協議の上、構造等を決定
- ※ 承水路等波の影響を受けない箇所については、計画堤防高をH.P.+2.10mとし、完成堤で整備
- ※ 支川の処理については、支川管理者と別途調整
- ※ 既往最高水位は斐伊川水系河川整備計画策定時点のもの

湖岸堤高H.P.+2.50mとは？

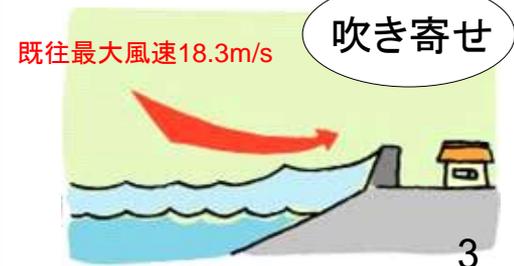
既往最高水位(H15.9)※のH.P.+1.08mに対し、中海のはん濫注意水位H.P.+0.9m以上で観測された最大風速18.3m/s(H16.9)により推計される最大の打上げ高



+

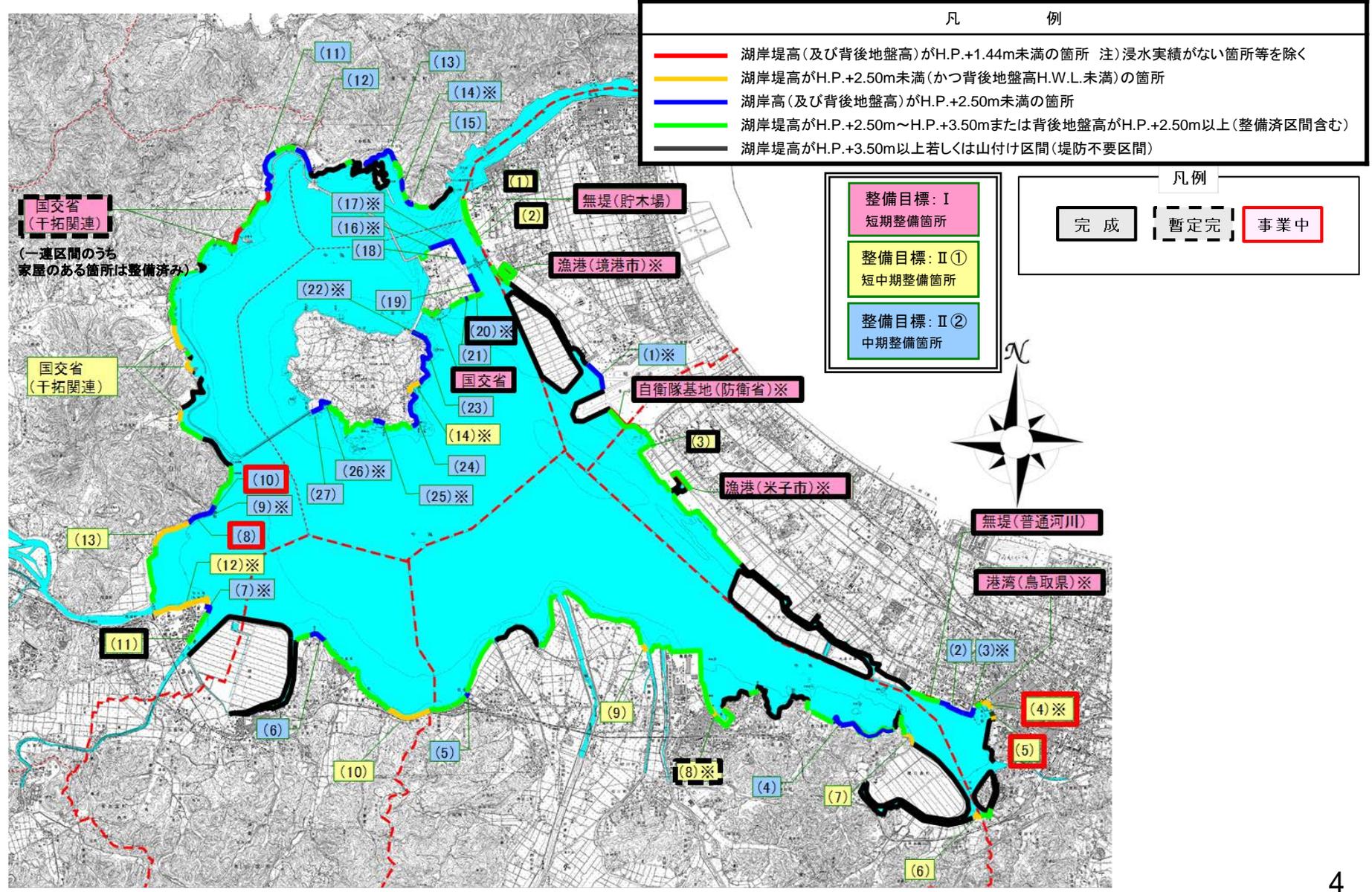


+



◆ 中海湖岸堤整備箇所一覽

○これまで、中海湖岸堤整備は整備計画の短期箇所が令和2年度に完成し、短中期整備箇所についても灘町（米子港 防波堤）、内町（ポンプ場前）に着手し、2箇所とも令和7年度中に完成予定。

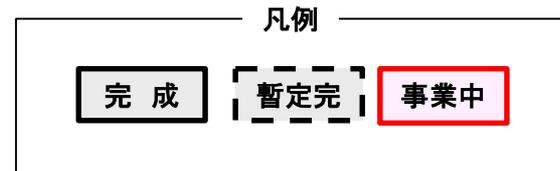


◆中海湖岸堤整備箇所一覽

区分	番号等	県名	箇所名	延長	優先順位
中海 右岸	(1)	鳥取県	境港市西工業団地(貯木場北)	1,200m	II①
	無堤 (貯木場)		境港市西工業団地(貯木場)	20m	I
	(2)		境港市西工業団地(貯木場南)	400m	II①
	漁港 (境港市)*		渡漁港	700m	I
	(1)*		境港市佐斐神町(空港北)	800m	II②
	自衛隊基地 (防衛省)*		境港市佐斐神町(空港南)	500m	I
			米子市葦津(空港南)	500m	I
	(3)		米子市葦津	100m	II①
	漁港 (米子市)*		米子市葦津(崎津漁港)	400m	I
	無堤 (普通河川)		米子市旗ヶ崎	30m	I
	(2)		米子市旗ヶ崎	500m	II②
	(3)*		米子市灘町(米子港 野積場)	800m	II②
	港湾 (鳥取県)*		米子市灘町(米子港 食品団地)	100m	I
	(4)*		米子市灘町(米子港 防波堤)	600m	II①
	(5)		米子市内町(ポンプ場前)	40m	II①
	(6)	安来市中海町	200m	II①	
	(7)	安来市島田町(米子湾側)	400m	II①	
	(4)	安来市島田町(中海側)	2,000m	II②	
	(8)*	安来港	1,700m	II①	
	(9)	安来市東赤江町	200m	II①	
(5)	安来市荒島町	100m	II②		
(10)	東出雲町下意東(東側)	700m	II①		
(6)	東出雲町下意東(西側)	500m	II②		
(11)	松江市富士見町(意宇川上流)	100m	II①		
(7)*	松江市富士見町(意宇川下流)	100m	II②		
(12)*	松江港	1,200m	II①		
中海 左岸	(13)	鳥根県	松江市大井町	1,100m	II①
	(8)		松江市大海崎町(上流)	300m	II②
	(9)*		松江市大海崎町(舟溜り)	200m	II②
	(10)		松江市大海崎町(下流)	300m	II②
	国交省 (千拓関連)		松江市上宇部尾町、新庄町	1,900m	II①
	国交省 (千拓関連)		松江市野原町、長海町	1,500m	I
	(11)		松江市手角町	1,000m	II②
	(12)		松江市美保関町下宇部尾(万原地区)	700m	II②
	(13)		松江市美保関町下宇部尾(湾奥)	1,000m	II②
	(14)*		松江市美保関町下宇部尾(上流)	200m	II②
	(15)	松江市美保関町下宇部尾(下流)	200m	II②	

区分	番号等	県名	箇所名	延長	優先順位
江島	(16)*	鳥根県	松江市八束町江島(工業団地)	700m	II②
	(17)*		松江市八束町江島(工業団地)	500m	II②
	(18)		松江市八束町江島(江島大橋北)	300m	II②
	(19)		松江市八束町江島(三田川樋門付近)	600m	II②
	(20)*		松江市八束町江島 (浄化センター東 舟溜り)	100m	II②
	(21)		松江市八束町江島 (サンコーポラス付近)	20m	II②
	国交省		松江市八束町江島 (老人集会所付近西側)	200m	I
	(22)*		馬渡漁港	400m	II①
	(23)		松江市八束町遅江(下流)	1,600m	II②
	(14)*		遅江港	600m	II①
大根島	(24)	松江市八束町遅江(上流)	1,100m	II②	
	(25)*	松江市八束町波入	700m	II②	
	(26)*	松江市八束町入江(舟溜り)	400m	II②	
	(27)	松江市八束町入江(西側)	300m	II②	
	境水道	(15)*	松江市美保関町福浦	300m	II①

※治水上必要な施設の整備にあたり、施設管理者と調整が必要な箇所



	鳥取県側			鳥根県側		
	全体	完成	事業中	全体	完成	事業中
短期整備箇所	6	6	0	2	2	0
短中期整備箇所	5	3	2	11	2	0
中期整備箇所	3	0	0	24	1	2

完成及び事業中の中期箇所については、令和2年9月台風第9号により浸水被害が発生したことを受けて、工事着手

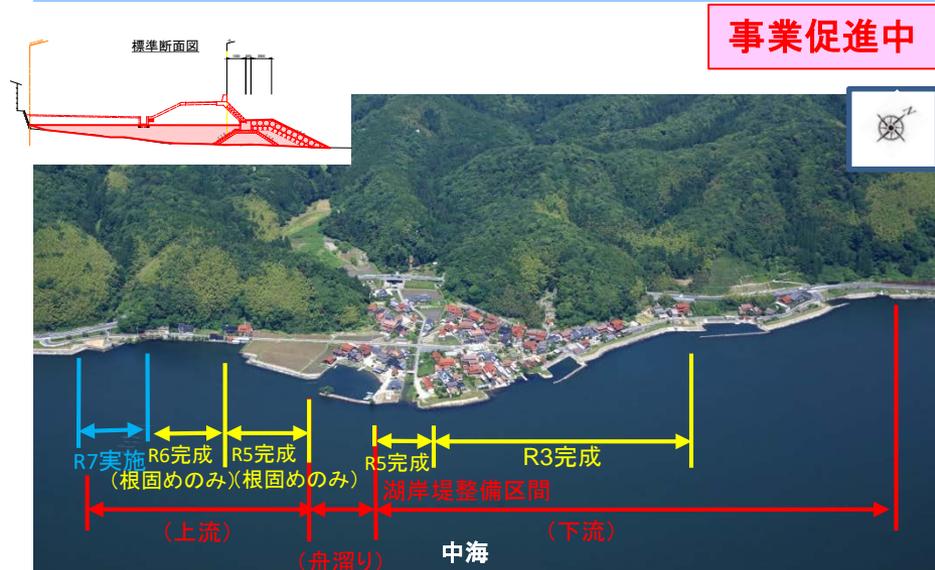
湖岸堤整備実施箇所を進捗状況 【鳥取県】
 <整備目標Ⅱ①(短中期整備箇所)> : 米子市灘町(米子港 防波堤)



現在までの取り組み状況

- ・平成28年度まで 引き続き鳥取県（空港港湾課）との調整を図り、詳細設計を実施し湖岸堤の整備に着手
- ・平成29年度 湖岸堤整備の促進
- ・平成30年度 米子市 「中海・錦海かわまちづくり計画」登録
- ・令和1年度 鳥取県（西部総合事務所）、米子市との調整を図り、かわまちづくり計画登録区間の予備設計を実施
- ・令和2年度 かわまちづくり計画登録区間の詳細設計を実施
- ・令和3年度 かわまち登録区間の湖岸堤整備の着手
- ・令和4年度 鳥取県により新設棧橋設置および旧棧橋を撤去
- ・令和5年度 かわまち登録区間の湖岸堤整備の促進
- ・令和6年度 かわまち登録区間を含む湖岸堤整備の促進
- ・令和7年度 湖岸堤整備の促進

湖岸堤整備実施箇所を進捗状況 【島根県】
 <整備目標Ⅱ②(中期整備箇所)> : 松江市大海崎町
 (上流・舟溜り・下流)



現在までの取り組み状況

- ・令和1年度 整備に向けた松江市との調整を図り、現地測量・詳細設計を実施
- ・令和2年度 詳細設計と並行して、令和2年9月台風9号により浸水被害が発生したことを受けて、湖岸堤整備の着手
- ・令和3年度～詳細設計と並行して、湖岸堤整備の促進
- ・令和7年度 湖岸堤整備の促進



現在までの取り組み状況

- ・令和 6年度まで 整備に向けた米子市との調整を図り、設計を実施
- ・令和 7年度より 湖岸堤整備の着手

大橋川改修の進捗状況について

大橋川改修の整備手順について

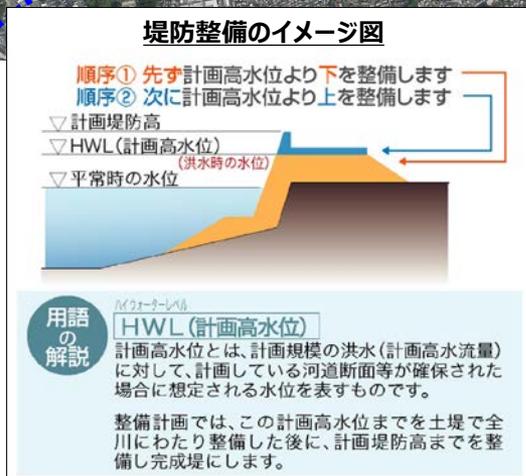
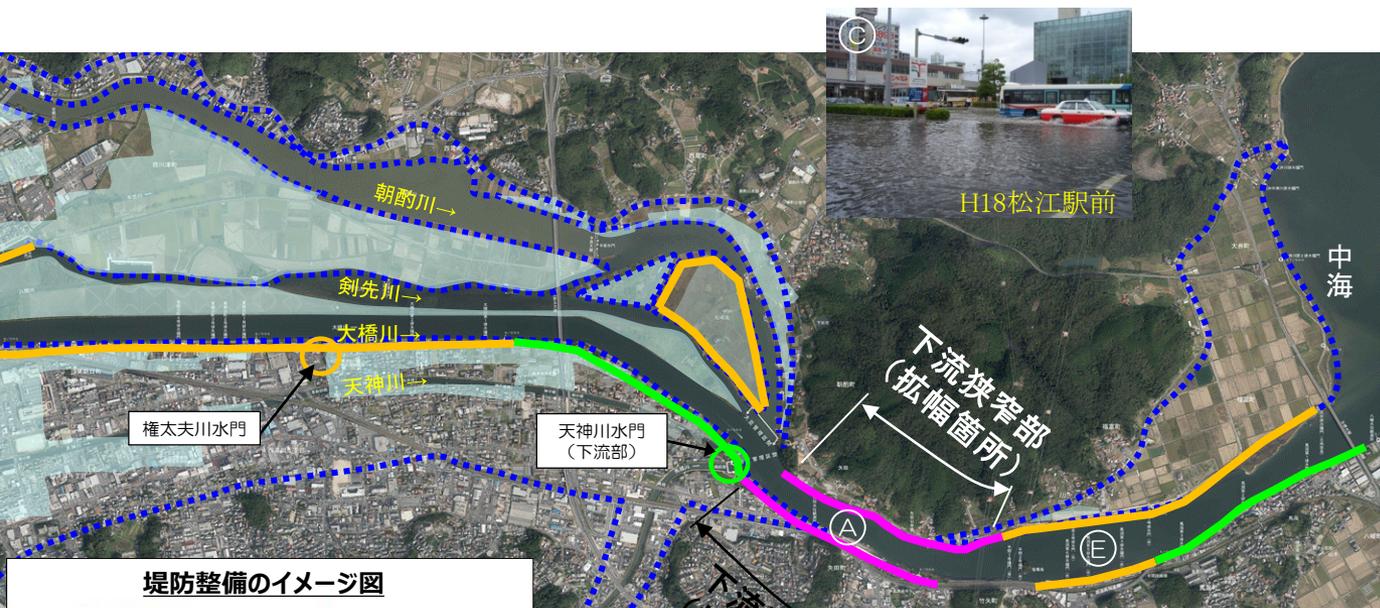
■ 概ね20年間の整備順序の考え方

① 狭窄部の拡幅を最優先

・宍道湖を含め全川にわたって水位低減効果が期待できる狭窄部の拡幅（下流→上流の順）を実施

② 堤防の整備

・堤防の整備は段階施工とし、計画高水位までの堤防高確保を先行して実施し、その後、計画堤防高まで堤防の整備を実施
 ・計画高水位までの堤防の整備にあたっては、水害リスクの高い箇所（平成18年7月洪水浸水実績箇所）等を優先的に実施



- 短期整備箇所
- 中期整備箇所
- 拡幅箇所
- ⋯ S47.7洪水浸水範囲
- S47.7洪水規模でダム・放水路があった場合の浸水想定

(A) 朝酌矢田施工状況 (R5.11月撮影)



大橋川改修 進捗および令和7年度の事業予定

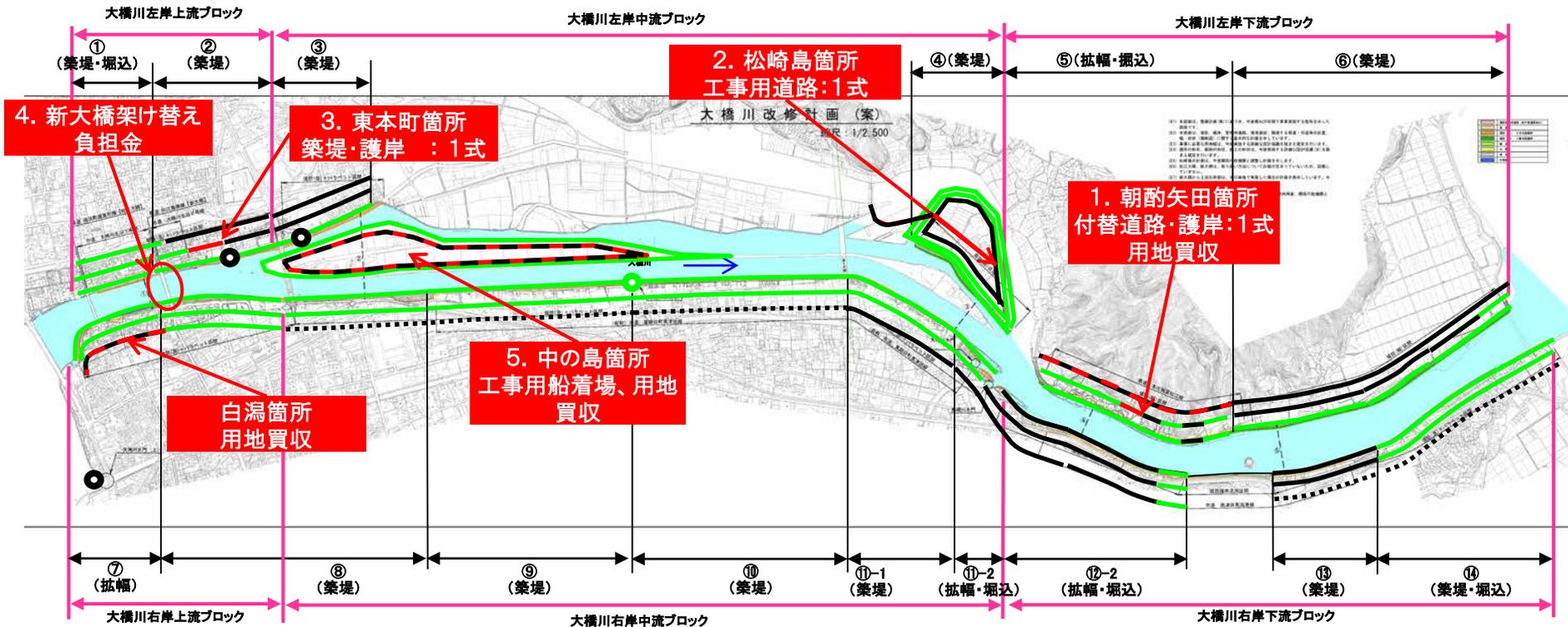
●令和7年度の事業は以下の箇所を予定。

1. 朝酌地区（朝酌矢田）の付替道路・護岸整備を継続
2. 朝酌地区（松崎島）の工事用道路整備を継続
3. 城東地区（東本町）の築堤・護岸整備を継続
4. 新大橋架け替え（島根県施工）の負担金
5. 中の島地区の工事用船着場工事を実施

●用地取得については、

朝酌矢田箇所（約9割）、中の島箇所（約7割）、白潟箇所（約9割）の取得率となっており、用地協議を継続する。（左岸上流BL①及び②の一部、右岸上流BL⑧一部、右岸下流BL⑫-2の一部は未買収）

川側	: 完成堤	黒	実施済
中央	: 暫定堤防	赤	実施中
民地側	: 用地買収	緑	未着手
(.....)	: 用地買収なし		
●	水門・樋門・排水機場		



大橋川改修実施箇所の進捗状況

あさくみ やだ
: 朝酌矢田地区の現況



※ 関連事業との調整により、計画堤防完成区間あり

【現在までの取り組み状況】

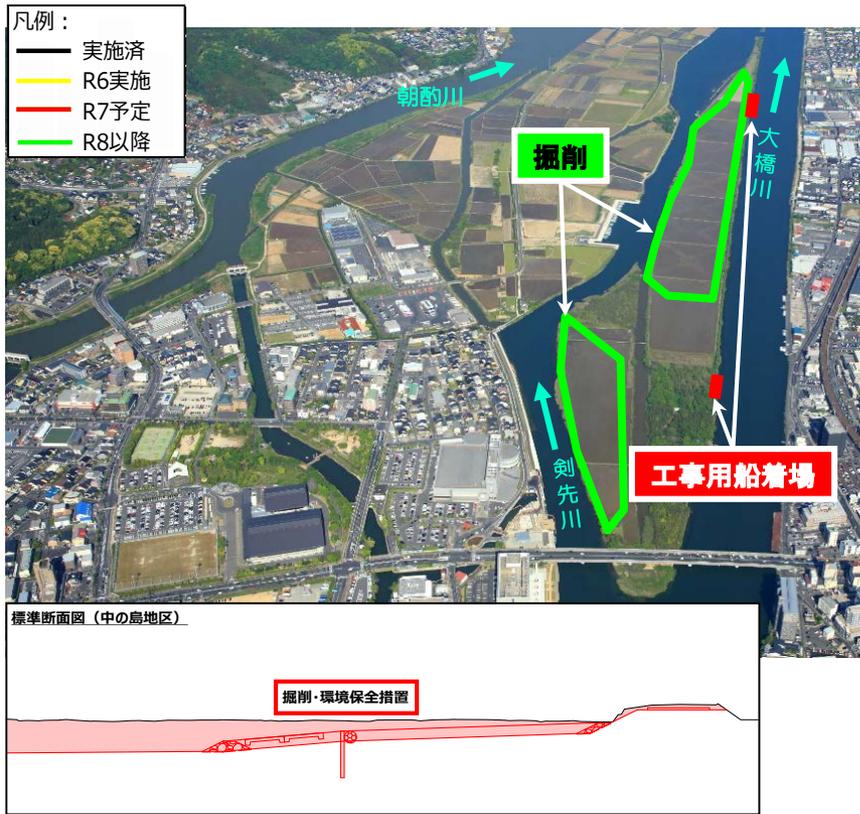
- ・平成23年度 地元設計協議に着手
- ・平成26年度 用地買収に着手
- ・平成30年度 用地買収の促進、埋蔵文化財調査の促進
- ・令和元年度～拡幅部の付替道路・護岸整備に着手
用地買収、埋蔵文化財調査の促進
- ・令和 4年度～付替道路・護岸整備の促進
用地買収、埋蔵文化財調査の促進

(今後の予定)

- ・令和 7年度 付替道路整備
- ・令和 8年度以降 護岸整備、掘削

大橋川改修実施箇所の進捗状況

なか しま
: 中の島地区の現況

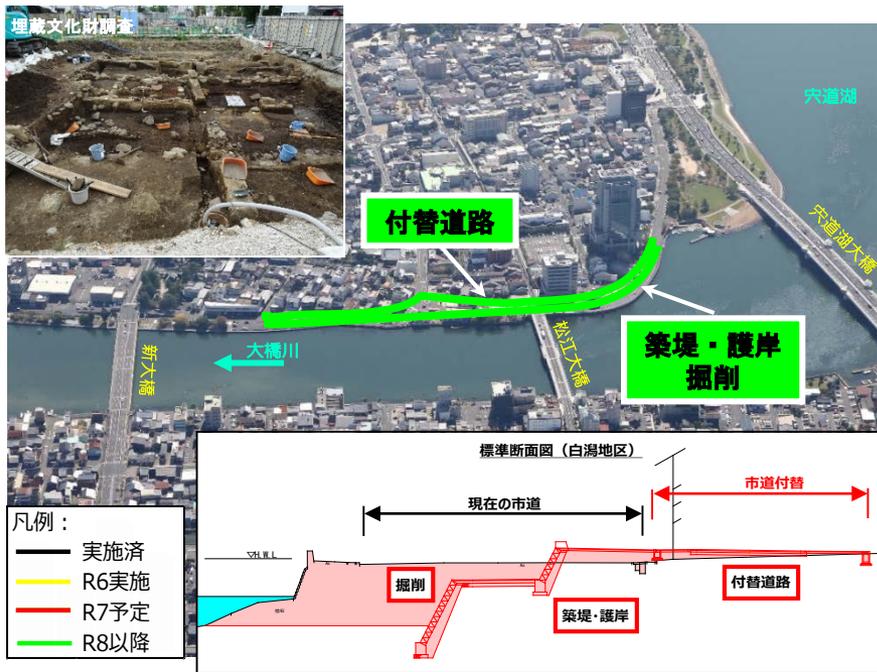


【現在までの取り組み状況】

- ・平成30年度 地元設計協議に着手
- ・令和 2年度 環境保全措置詳細設計を実施、用地調査に着手
- ・令和 3年度 用地買収に着手
- ・令和 4年度～用地買収の促進

(今後の予定)

- ・令和 7年度 工事用船着場整備
- ・令和 8年度以降 掘削工事、環境保全措置



【現在までの取り組み状況】

- ・平成24年度 設計協議に着手
- ・平成28年度 用地買収に着手
- ・平成30年度～用地買収の促進
- ・令和 3年度 用地買収の促進、埋蔵文化財調査に着手
- ・令和 4年度～用地買収・埋蔵文化財調査の促進
- ・令和 5年度～付替道路側溝、埋設物工事に着手（国、松江市）

（今後の予定）

- ・令和 7年度 埋設物工事の促進（松江市）
- ・令和 8年度以降 付替道路の整備（側溝・舗装）、築堤・護岸、掘削



大橋川改修における環境保全措置(中の島)

- 大橋川改修では、工事による影響が見込まれる動植物や、それら動植物の生息生育環境を保全・維持し、改修による河川環境への影響を可能な限り軽減すべく、環境保全措置に取り組んでいる。
- 河道拡幅や築堤により消失する恐れのあるヨシ群落・コアマモ群落の保全措置（移植）のため、中の島に生育基盤を計画している。

工事によるヨシ、コアマモの変化



河岸全域に見られるヨシ群落

ヨシ群落は、ウデフユミアシサシガメやカワザンショウガイ類など重要な種の生息生育基盤となっている。



下流左岸のコアマモ群落

コアマモ群落は、魚類（稚魚期や産卵期など）や甲殻類等の生息生育基盤となっている。

◆大橋川改修の影響が見込まれる動植物の一例



ウデフユミアシサシガメ



ヨシダカザンショウガイ

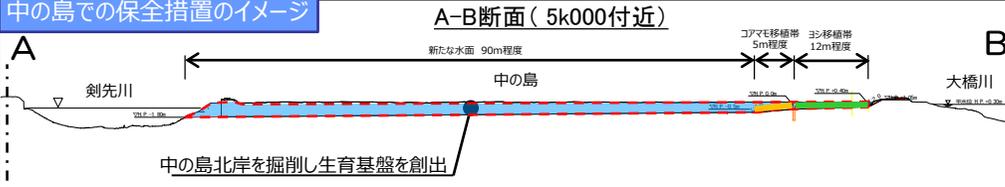


ヒメシロアサザ



コアマモ

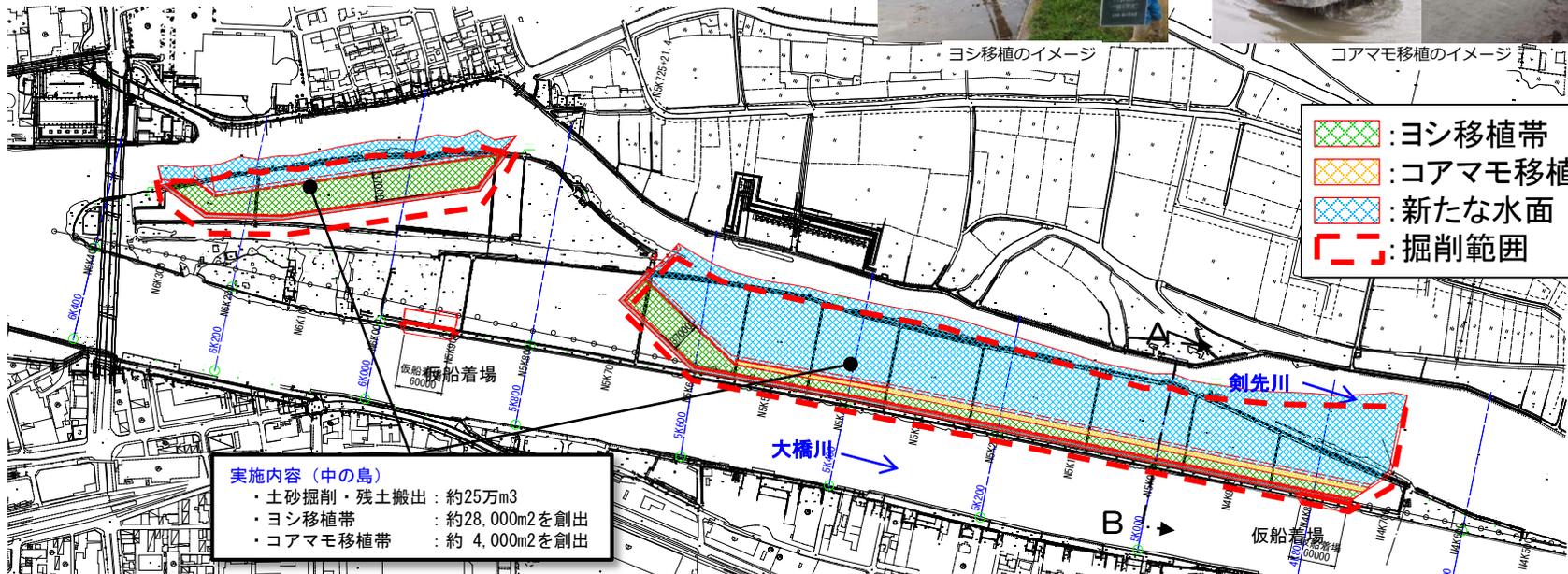
中の島での保全措置のイメージ



ヨシ移植のイメージ



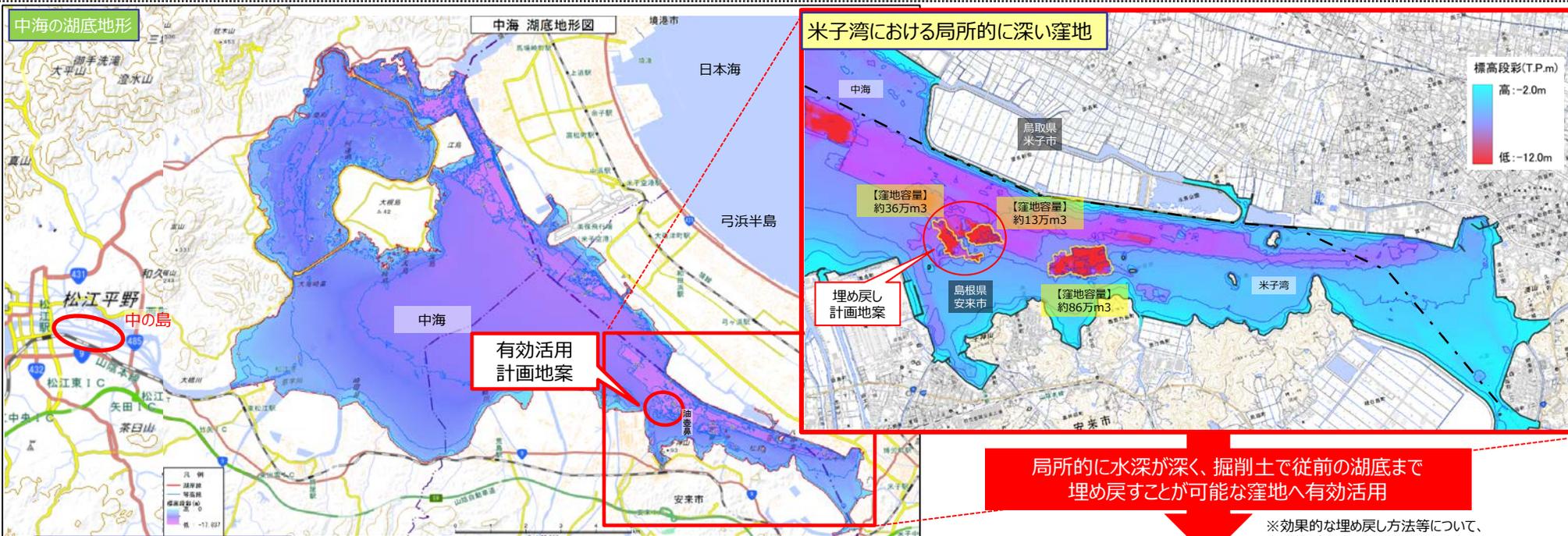
コアマモ移植のイメージ





大橋川改修にともなう掘削土の有効活用について

- 大橋川改修にともなう中の島掘削や大橋川下流狭窄部の拡幅により掘削土が大量に発生（約50万m³）する見込み。
- 大量の掘削土を経済的に処理するため、中海の窪地の一部を埋め戻す土砂として有効活用し、副次的に中海の環境保全にも寄与することを期待する。
- 大橋川の掘削土を有効活用する場所は、掘削土量相当の窪地2カ所（油壺鼻沖）を計画しており、その他の窪地の埋め戻しは予定していない。
- なお、具体的な埋め戻しの方法等については今後検討。



局所的に水深が深く、掘削土で従前の湖底まで埋め戻すことが可能な窪地へ有効活用

※効果的な埋め戻し方法等について、今後検討予定

